

# 第 1 総務に関する事項

## 1. 構成員の現況

### (1) 入会会員

平成25年4月1日に公益財団法人へ移行したことに伴い、入会勧誘を行い、以下の離島関係市町村が本財団へ入会した。

東京都 小笠原村

鹿児島県 奄美市・大和村・宇検村・瀬戸内町・龍郷町・喜界町・徳之島町・天城町  
伊仙町・和泊町・知名町・与論町

沖縄県 石垣市・うるま市・宮古島市・南城市・久米島町・伊江村・本部町・渡嘉敷村  
座間味村・粟国村・渡名喜村・南大東村・北大東村・伊平屋村・伊是名村  
多良間村・竹富町・与那国町

### (2) 平成26年4月1日現在の構成員数

区 分	平成25年4月1日	平成26年4月1日
評 議 員	計 13 人	計 14 人
役 員	理 事 長 1人 専務理事 1人 理 事 12人 監 事 2人 計16人	理 事 長 1人 専務理事 1人 理 事 12人 監 事 3人 計17人
会 員	135市町村	138市町村
賛 助 会 員	2法人	2法人
関係都道府県数	26都道府県	27都道府県

※平成25年4月1日に公益財団法人へ移行

## 2. 役員・評議員の異動

日 付	役職名	事由	氏 名	職 名	備 考
H25. 6. 24	理 事	退任	日高 郷士	前鹿児島県三島村長	定時評議員会
	評議員	〃	西岡 憲康	前岡山県備前市長	〃
	理 事	就任	肥後 正司	鹿児島県十島村長	〃
	監 事	〃	野口市太郎	長崎県五島市長	〃
	評議員	〃	本保 建男	新潟県粟島浦村長	〃
H25. 11. 25	理 事	退任	濱田 孝夫	香川県直島町長	第1回臨時評議員会
	評議員	〃	菅原 茂	宮城県気仙沼市長	〃
	理 事	就任	丸尾 幸雄	香川県多度津町長	〃
	評議員	〃	佐藤 昭	宮城県塩竈市長	〃

## 第2 会議に関する事項

### 1. 評議員会

- (1) 日 時：平成25年6月24日（月）
- (2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館」
- (3) 出席者：評議員7名 理事長1名 専務理事1名 監事2名
- (4) 経 過

#### ①開会

②理事長挨拶 白川博一理事長

③議長の選出 広瀬久雄東京都御蔵島村長を選任

④議事録署名人 広瀬久雄東京都御蔵島村長、升谷健島根県西ノ島町長

- ⑤議案審議
- 第1号議案 評議員会運営規程について
  - 第2号議案 平成24年度事業報告の承認について
  - 第3号議案 平成24年度収支決算の承認について
  - 第4号議案 評議員の補欠選任について
  - 第5号議案 理事及び監事の補欠選任について
  - 第6号議案 基本財産の定め承認について
  - 第7号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改正の承認について
  - 第8号議案 役員報酬の支給の基準並びに役員報酬の総額の承認について
  - 第9号議案 常勤役員の退職手当に関する規程の改正の承認について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

#### ⑥閉会 閉会挨拶

##### \*配布資料等

- ・平成25年度定時評議員会次第
- ・平成25年度評議員会提出議案
- ・平成24年度事業報告書
- ・平成24年度収支決算報告書
- ・諸規程改正（案）新旧対照表
- ・諸規程改正（案）改正文全文
- ・参考資料 公益財団法人日本離島センター定款
- ・資料1 人事異動
- ・資料2 平成25年度離島人材育成基金助成事業審査結果

## 2. 臨時評議員会

<第1回臨時評議員会（みなし決議）>

(1) 日 時：平成25年11月25日（月）（決議があったものとみなされた日）

(2) 議 案：第1号議案 評議員及び理事の選任について

第2号議案 平成25年度収支補正予算の承認について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

\*配布資料等

- ・平成25年度第1回臨時評議員会提出議案
- ・平成25年度正味財産増減計算補正予算書（案）

<第2回臨時評議員会（みなし決議）>

(1) 日 時：平成26年3月12日（水）（決議があったものとみなされた日）

(2) 議 案：第1号議案 平成25年度収支補正予算の承認について

第2号議案 平成26年度事業計画について

第3号議案 平成26年度収支予算について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

\*配布資料等

- ・平成25年度第2回臨時評議員会提出議案
- ・平成25年度正味財産増減計算補正予算書（案）
- ・平成26年度事業計画書（案）
- ・平成26年度正味財産増減計算予算書（案）

### 3. 理事会

#### <第1回理事会>

- (1) 日 時：平成25年6月3日（月）14時
- (2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館第1会議室」
- (3) 出席者：理事12名 監事2名
- (4) 理事長挨拶
- (5) 職務執行状況の報告について
- (6) 議事
  - ①議事録署名人の選任
  - ②議案審議
    - 第1号議案 理事会運営規程の承認について
    - 第2号議案 諸規程の制定及び改正の承認について
    - 第3号議案 平成24年度事業報告の承認について
    - 第4号議案 平成24年度収支決算の承認について
    - 第5号議案 事務局長の選任について
    - 第6号議案 平成25年度定時評議員会の招集及び提出議案の承認について
    - 第7号議案 役員報酬及び職員給与等減額の特別措置の承認について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

#### ※配付資料等

- ・平成25年度第1回理事会次第
- ・平成25年度第1回理事会提出議案
- ・平成24年度収支決算報告書
- ・平成24年度事業報告書
- ・諸規程制定（案）
- ・諸規程改正（案）
- ・諸規程改正（案）新旧対照表
- ・諸規程改正（案）改正文全文
- ・参考資料1 公益財団法人日本離島センター規程の新設並びに改正
- ・参考資料2 公益財団法人日本離島センター定款
- ・資料1 人事異動
- ・資料2 平成25年度離島人材育成基金助成事業一覧

#### <第2回理事会>

- (1) 日 時：平成25年11月1日（金）10時
- (2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館第1会議室」
- (3) 出席者：理事11名 監事3名
- (4) 理事長挨拶
- (5) 職務執行状況の報告について
- (6) 議事
  - ①議事録署名人の選任
  - ②議案審議
    - 第1号議案 平成25年度収支補正予算の承認について
    - 第2号議案 みなし決議による平成25年度第1回臨時評議員会の実施及び提出議案の承認について
    - 第3号議案 平成25年度第2回臨時評議員会の招集及び提出議案の承認について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

※配付資料等

- ・平成25年度第2回理事会次第
- ・平成25年度第2回理事会提出議案
- ・資料1 人事異動
- ・資料2 離島振興対策実施地域の指定及び指定解除（官報抜粋）
- ・資料3 第6回全国離島交流中学生野球大会開催報告
- ・資料4 離島振興60周年記念功労者表彰式典の開催並びに功労者表彰受賞者について
- ・資料5 給与減額特別措置に対する役員市町村状況総括表並びに本財団給与減額について
- ・資料6 平成25年度離島人材育成基金助成事業一覧
- ・資料7 「第2期島づくり人材養成大学」実施報告
- ・資料8 平成25年度離島石油製品流通合理化・安定供給支援事業について
- ・資料9 平成25年度離島市町村等職員研修の実施について
- ・資料10 「アイランダー2013」の開催について
- ・資料11 平成26年度日本離島センター会費賦課方法について
- ・協議資料1 平成26年度日本離島センター事業計画（案）

<第3回理事会>

- (1) 日 時：平成26年2月20日（木）10時30分
- (2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館第1会議室」
- (3) 出席者：理事10名 監事2名
- (4) 理事長挨拶
- (5) 職務執行状況の報告について
- (6) 議事
  - ①議事録署名人の選任
  - ②議案審議
    - 第1号議案 平成25年度収支補正予算について
    - 第2号議案 平成26年度事業計画について
    - 第3号議案 平成26年度会費賦課方法について
    - 第4号議案 平成26年度収支予算について
    - 第5号議案 公益目的事業の変更認定申請について
    - 第6号議案 平成25年度第2回臨時評議員会の開催変更について

※上記議案は原案通り承認。

※配付資料等

- ・平成25年度第3回理事会次第
- ・平成25年度第3回理事会提出議案
- ・平成26年度事業計画書（案）
- ・平成26年度正味財産増減予算書（案）
- ・資料1 「アイランダー2013」実施報告
- ・資料2 平成25年度離島市町村等職員研修の実施について
- ・資料3 平成26年度離島人材育成基金助成事業募集要項
- ・資料4 平成26年度日本離島センター行事予定表（案）

#### 4. 監 査

平成25年5月14日(火)午後3時30分から日本離島センター会議室において、石野田富弘(東京都神津島村長)・川添健(鹿児島県長島町長)各監事により平成24年度収支決算について監査が行われ、渡邊専務理事、仲田調査研究部長、二藤総務部長及び高山、伊賀顧問会計士が立ち会った。

### 第3 事業に関する事項

平成25年度の各事業の実施状況並びに結果の概要は、次のとおりである。

#### 1. 研修・派遣事業

##### (1) 研 修

##### ①離島市町村等職員研修

平成25年度離島市町村等職員研修は、去る平成25年12月3日～12月11日までの9日間、千葉市にある「市町村アカデミー」（財団法人全国市町村研修財団）の年度研修計画の制度運用編「観光戦略と地域ブランド②」クラスに、本財団が計画する離島市町村等職員を対象にしたカリキュラムを設定し、市町村アカデミーの協力を得て開催した。

今年度は、離島関係市町村、11道県、14市町村から職員15名が参加し、「離島の特性を活かした観光地域づくり」をテーマとして、活発な交流活動の推進による島おこし方策が検討された。

##### ア. 参加者

都道府県名	市町村名	参加者名	職 名
北海道	羽幌町	木村 康治	産業課観光振興係長
宮城県	女川町	宇野 裕晶	企画課主査
新潟県	佐渡市	遠藤 篤	観光振興課主任
三重県	鳥羽市	河原 光寿	企画財政課
兵庫県	姫路市	吉田 貴俊	観光交流推進室主事補
愛媛県	上島町	市田 善紀	建設課主事
佐賀県	唐津市	山口 健二	観光文化スポーツ部観光課副主査
長崎県	壱岐市	里村 治美	企画振興部観光商工課主事
長崎県	五島市	尾方 勉	観光交流課事務職員
大分県	姫島村	江原 綾子	企画振興課主事補
鹿児島県	和泊町	安田 拓	企画課主事
鹿児島県	薩摩川内市	尾崎 孝一	鹿島支所市民生活課地域振興グループ長
沖縄県	石垣市	西銘 基恭	観光文化課班長
沖縄県	うるま市	新垣 裕大	経済部商工観光課主事
公益財団法人日本離島センター		長谷川 直哉	総務部総務係

# 時 間 割

[制度運用編]

クラス名：観光戦略と地域ブランド②～滞在交流型観光戦略（観光地域づくり）～

担当教授：寺澤 昌恵

平成25年12月3日（火）～12月11日（水）

担当主事：横手 綾子

日 (曜日)	午 前			午 後			
	9:00～	9:25～10:35	10:50～12:00	13:00～14:10	14:25～15:35	15:50～17:00	17:00～
12月3日 (火)				13:30～15:00 入所	15:30～ 入寮オリエンテーション 16:00～ 開講式 16:30～ 開講オリエンテーション		
12月4日 (水)	オリエンテーション	これからの観光地域振興と観光地域づくり（講義） 川瀧 弘之 観光庁観光地域振興部観光地域振興課長		真の観光立地を実現する観光地域づくり（講義） 清水 慎一 立教大学観光学部兼任講師		事例紹介（レクチャー&フォーラム） ＜観光地域づくり＞ 桑野 和泉※注1 清水 慎一	課題演習（討議）
12月5日 (木)	課題演習	コンセプトの明確化による地域ブランドの確立（講義） 山田 雄一※注2	事例紹介（レクチャー&フォーラム）＜地域の魅力の掘り起こしと磨き上げ＞ 高砂 樹史※注3	地域のコンセプトを対韓させる滞在プログラムづくり（講義） 柏木 千春※注4	地域のコンセプトを体感させる滞在プログラムづくり（課題演習・討議） 清水 慎一 柏木 千春※注4		課題演習（討議）
12月6日 (金)	課題演習	滞在プログラムの発信（講義） 沢登 次彦※注5	観光地域づくりプラットフォームの解説（講義） 清水 慎一	事例紹介（レクチャー&フォーラム）＜観光地域づくりプラットフォームの実例＞ 木村 宏※注6 清水 慎一		リフレッシュタイム	
12月7日 (土)							
12月8日 (日)							
12月9日 (月)	課題演習	観光地域づくりプラットフォームを担う観光地域づくりマネージャーの育成（講義） 山田 雄一※注2	滞在交流型観光と人材（講義） 米田 誠司※注7	事例紹介（レクチャー&フォーラム）＜人材育成の実践＞ 野池 明登 長野県観光部長	人材育成の実践手法（講義） 清水 慎一	レポート作成 寺澤教授	課題演習（討議）
12月10日 (火)	課題演習	事例紹介（レクチャー&フォーラム）＜官民協同＞ 椎名 喜予※8	観光行政と職員の役割（講義） 清水 慎一	地域のコンセプトを体感させる滞在プログラムづくり（発表・講評） 清水 慎一			
12月11日 (水)	これからのインバウンド戦略（講義） 大野 達 観光庁国際観光課長		修了式 11:40～				

※注1：桑野 和泉 大分県湯布院観光協会長

※注5：沢登 次彦 じゃらんリサーチセンター長

※注2：山田 雄一 公益財団法人日本交通公社研究調査部次長、主席研究員

※注6：木村 宏 一般社団法人信州いいやま観光局事務局次長

※注3：高砂 樹史 小値賀観光まちづくり公社専務取締役

※注7：米田 誠司 愛媛大学法文学部総合政策学科講師

※注4：柏木 千春 流通科学大学サービス産業学部観光学科准教授

※注8：椎名 喜予 佐原商工会議所事務局長



## ②島づくり人材養成大学

本大学は、コミュニティの活性化や産業振興など地域づくりに取り組んでいる離島住民を対象とした、島づくりリーダー養成のための短期集中型講座で平成4年度から開講しているものである。22回目となる今年度は、「島づくり、はじめの3歩！」をテーマに、ワークショップのプログラムを通じて、参加者自らが目標設定や活動の立ち上げ方などを学ぶ講座を開講。

平成25年9月25日(水)～9月27日(金)の3日間、全国13都道県15市町村から16人が参加した。

### ア. 参加者

都道県	市町村	島名	氏名	職業
北海道	奥尻町	奥尻島	玉井 亨	玉井商店代表取締役
山形県	酒田市	飛島	本間 当	旅館業・合同会社とびしま代表
東京都	神津島村	神津島	菅原 怜	役場職員
新潟県	佐渡市	佐渡島	木野本 信子	役場職員(地域おこし協力隊)
新潟県	粟島浦村	粟島	竹内 徹真	役場職員
三重県	鳥羽市	答志島	橋本 崇	宿泊業
兵庫県	南あわじ市	沼島	森本 真理子	市役所職員(地域おこし協力隊)
島根県	隠岐の島町	島後	谷田部 朋子	役場職員(地域おこし協力隊)
岡山県	笠岡市	笠岡諸島	渡辺 将吾	かさおか島づくり海社職員
山口県	周南市	大津島	大友 翔太	市役所職員
香川県	多度津町	高見島	西山 市朗	自営業
愛媛県	上島町	上島諸島	増岡 浪江	役場職員
福岡県	福岡市	玄界島	榎田 直人	漁業
福岡県	福岡市	玄界島	宮川 辰真	漁業
長崎県	壱岐市	壱岐島	久保田 恒憲	自営業
長崎県	新上五島町	中通島	田島 伊勢次	新上五島町社会福祉協議会

### イ. 研修日程

	午 前		午 後	
	9:00～12:30		13:30～17:00	夜 間
第1日目 (水)	受付 開講式 集合写真撮影	・ガイドダンス ・ワーク①『自己紹介』	ワーク②自己定義ワーク ワーク③MVG言語化ワーク 発表①:ビジョン発表	交流会
第2日目 (木)	・初日のふりかえり ・ワーク④ギャップ認識ワーク		・午前中のふりかえり ・ワーク⑤方針明確化ワーク	自主研修
第3日目 (金)	・ワーク⑥はじめの3歩ワーク ・ワーク⑦未来の自分名刺		・発表②未来の自分発表宣言 (自己定義、MVG、はじめの3歩) ・講評・心得十訓	修了式

### ③離島振興実務担当者研修

「しまづくりサミット2013」の開催

「島をよくしようと行動する人たち」の力となることを目指し、離島に住み続けたい、住んでみたくなる島づくり実現のため、離島住民の悩みや苦勞、知恵とアイデアを共有することを目的に開催した。参加者は関係市町村実務担当者はじめアイランダー出展関係者に参加を呼びかけ、168名の参加を得た。

当日は、都市と離島間の交流促進の事例、外部の視点で島の活性化を行う地域おこし協力隊の活動、地域側にも留学生側にも効果の大きな離島留学、一部離島自治体における離島の活性化の取り組み事例について、4人の講師からの事例発表に引き続き、それぞれ関心のある分野ごとにワークショップ形式でグループ討議を行った。

日 時：平成25年11月22日(金)12:00～15:00

場 所：東京・池袋サンシャインシティ文化会館5階502ホール

主 催：公益財団法人日本離島センター

テーマ：交流による人材育成と島づくり

プログラム	内容	講師（敬称略）
事例報告Ⅰ ①交流促進分科会	新島ふるさと農園の活動～地域の交流促進のために	東京都新島村 小林 恭介
事例報告Ⅱ ②人材育成分科会	大津島における地域おこし協働隊の取り組みについて	地域おこし協力隊員 大友 翔太
事例報告Ⅲ ③地域教育分科会	粟島浦村における潮風留学の取り組みについて	粟島浦村中学校長 加納 博志
事例報告Ⅳ ④一部離島分科会	忽那諸島における活性化策について	松山市坂の上の雲まちづくり 担当部長付主査 石本 誠

## (2) 派遣

平成25年度は下記の研修会等へ講師を派遣した。

### ①講師派遣

- 1) 「第2回浦戸語り場」(東日本大震災復興支援イベント)への職員派遣  
日 時：平成25年4月14日(日)  
場 所：宮城県松島町 松島  
派遣職員：本財団調査係 森田 朋有
- 2) 長崎県離島研究シンポジウムへの講師派遣  
日 時：平成25年5月22日(水)  
場 所：長崎県長崎市 長崎県歴史文化博物館ホール  
派遣職員：本財団調査研究部長 仲田 成徳
- 3) 第45回山口県離島青年会議 in 浮島への職員派遣  
日 時：平成25年6月8日(土)  
場 所：山口県周防大島町 浮島  
派遣職員：本財団調査研究部長 仲田 成徳
- 4) 「緑のふるさと協力隊」事業推進懇談会への職員派遣  
日 時：平成25年6月17日(月)  
場 所：東京都中央区 地域緑化センター事務所  
派遣職員：本財団調査研究部長 仲田 成徳
- 5) 順天堂大学保健看護学部「社会行動論(社会学入門)」への講師派遣  
日 時：平成25年7月6日(土)  
場 所：静岡県三島市 順天堂大学三島キャンパス  
派遣職員：本財団広報・調査課長 三木 剛志
- 6) 北海道離島振興協議会平成25年度研修会への講師派遣  
日 時：平成25年8月1日(木)  
場 所：北海道札幌市 北海道自治会館  
派遣職員：本財団調査研究部長 仲田 成徳
- 7) 第11回海ごみサミット・東京会議への職員派遣  
日 時：平成25年11月20日(水)～21日(木)  
場 所：東京都新宿区 新宿住友ホール  
派遣職員：本財団調査係長 小澤 卓
- 8) 地域活性化のための「平成の談合」への講師派遣  
日 時：平成26年2月10日(月)  
場 所：熊本県上天草市 湯島  
派遣職員：本財団調査第二課長 水 昭仁
- 9) 地(知)の拠点整備事業[大学COC事業]評価委員会への職員派遣  
日 時：平成26年3月28日(金)  
場 所：広島県大崎上島町 広島商船高等専門学校  
派遣職員：本財団調査研究部長 仲田 成徳

### ②人材育成への協力のための職員派遣

- 1) 「第6回粟島クリーンアップ作戦」実行に伴う職員派遣  
日 時：平成25年6月16日(日)  
場 所：新潟県粟島浦村  
派遣職員：本財団調査・総務係長 小澤 卓/総務係 長谷川直哉

## 2. 調査研究事業

### (1) 自主調査

平成25年度は以下の自主研究を実施した。

#### 『離島観光のあり方に関する自主研究』

##### 1) 調査実施の趣旨

離島振興法第十七条において、離島振興対策実施地域における観光の振興並びに地域間交流の促進について適切な配慮をするものとする明記されるなど、観光振興の促進は、離島振興を図る上で欠くことのできない重要な分野と位置づけられている。

また、近年では、小笠原諸島の世界自然遺産認定、慶良間諸島の国立公園指定などをはじめとした島の自然、瀬戸内国際芸術祭や瀬戸内しまのわ2014など島を舞台にしたイベントなどに国民の関心が向けられている。

本調査は、離島地域における観光振興の動向や離島観光のポテンシャル、経済効果などを把握するとともに、離島に観光経験のある方及びない方に対しアンケートを行い、それら結果を踏まえて、今後、本財団が離島での観光振興に係る支援を進める上で必要な事項を体系的に整理し、具体的な支援手法を検討することを目的に実施した。

##### 2) 主な調査内容

- ・離島地域の観光に関する既存資料の整理
- ・離島地域の観光に関する情報や資料の収集・整理
- ・離島観光に関するアンケートの設計

### (2) 補助事業（法人会計事業）

平成25年度は以下の補助事業を試験的に実施した。

#### 1. 資源エネルギー庁補助事業

##### 1) 事業名

平成25年度 離島石油製品流通合理化・安定供給支援事業

##### 2) 事業実施期間

平成25年9月3日～平成26年3月31日

##### 3) 補助金額

23,348,169円（間接事業費18,477,500円、管理事業費4,870,669円）

##### 4) 事業実施の趣旨

離島における石油製品の安定的かつ低廉な供給の確保を図るため、離島の石油製品の流通合理化・安定供給対策の策定を支援する事業に要する経費について補助を行った。

##### 5) 主な事業内容

###### ア. 間接補助事業

###### ①与論島における石油製品の安定供給体制構築に向けた調査・検討事業

平成24年10月、連続した台風来襲で島の石油製品の在庫が底をつく事態が生じた与論島において、有村商事株式会社を代表団体として、与論町、町内SS事業者などの協力のもと、石油製品の安定供給体制の構築に向けた検討を行った。

「与論島における石油製品安定供給体制構築検討協議会」を設置し、石油製品の流通や在庫状況などに関する実態調査及びそれらを踏まえた上で安定供給体制構築について協議した結果、「与論町による（台風時期、冬期の）ガソリンの一時買い上げ・保管委託による在庫増」、「在庫不足・在庫切れ時の対策のルール化」などが、平成26年度から実施される予定となった。

###### ②宮古島・石垣島等石油製品流通合理化・安定供給支援事業

台風襲来や冬場の時化でのタンカーやフェリーの欠航など、石油製品の安定供給に不安を抱えている沖縄県の離島地域である宮古島、石垣島地域において、石油製品の流通実態の把握、海岸沿いに立地する油槽所の災害対策方案などを検討した。

事業の実施にあたっては、宮古島市及び石垣市、沖縄県、学識者、石油製品生産・流

通事業者からなる「宮古島・石垣島等石油製品流通合理化・安定供給検討委員会」を設置し、離島地域の実態調査をはじめ東日本大震災の被災地における製油所の現地調査などを行い、調査結果に基づいて、同地域における流通合理化・安定供給方策を協議した。その結果、先離島におけるドラム缶からタンクコンテナ輸送への変更による流通合理化や、コンテナを活用した流通在庫の拡大などが提案されたほか、本事業を契機に、県や各自治体、石油関連事業者間で「地域への石油製品出荷拠点の災害耐力の強化」「重要施設など需要側における備蓄体制の見直し」「災害時の優先供給、連携体制の構築」などについての意識の共有が進み、来年度以降のさらなる検討につながる事となった。

#### イ. 事務処理事業（管理事業）

間接補助事業者の公募、選定、事業の管理などを行った。

間接補助事業者の選定にあたっては、学識者、関係団体、石油製品物流事業者、行政からなる「離島石油製品流通合理化・安定供給支援事業選定委員会」を設置し、公平かつ多角的な視点で審査した。間接事業者選定後も、同委員会にて事業進捗状況を報告し、本事業が円滑かつ効果的に進行するよう意見などを伺った。

本財団職員を各間接補助事業者が開催する委員会などへ派遣し、必要に応じて助言を行うなど、事業の適切な管理に努めた。

### (3) 財団法人日本宝くじ協会公益法人助成事業（社会貢献広報事業）

#### 1) 事業名

島の広報用冊子『島々の日本』作成事業

#### 2) 事業実施期間

平成25年4月1日～平成26年2月5日

#### 3) 補助金額

6,300,000円（うち消費税300,000円）

#### 4) 事業実施の趣旨

島の基本情報をはじめ、島の果たす国家的・国民的役割、島の抱える問題点など海洋島嶼国家・日本の実情を広く国民に理解してもらうことを目的に、島の広報冊子『島々の日本』を作成し、一般の方々や関係機関などへ無償配布した。

#### 5) 主な事業内容

##### 1. 小冊子の内容

##### ・島々の概要

島の基本情報や島の果たしている役割などを地理、自然、文化、暮らしの4つのテーマで分類。「島とは何か」「島の数」「島の振興を図る4つの法律」など一般の方々に知っておいていただきたい基本的な事項をはじめ、島の動植物、伝統芸能、風習、暮らしぶりなど島の魅力を、写真を多用して概説した。

##### ・島のデータ集

日本に存在する島（架橋された島、湖沼中にある島を含む）のうち、平成22年国勢調査などで住民の居住が確認された島（有人島）約420島を掲載。各島について、島名の読み方、人口、面積、島のプロフィールをまとめ、資料として活用できるものとした。

##### ・島と海の地図

わが国の有人島と主要無人島あわせて約1,100島の位置と各島への航路を記した地図を掲載した。

##### 2. 配布数

40,000冊

##### 3. 配布先

・宅配便などでの送付 33,369冊

（一般国民25,486冊、図書館4,258冊、学校1,124冊、関係機関など2,501冊）

・イベント、事務所での配布 6,631冊

**3. 資料の収集整備**（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

平成25年度も、昨年に引き続き各資料の収集整備を行った。

（1）購入図書／文献：129冊

（2）寄贈図書／文献：189冊

（3）購入CD・DVD：1部

（4）寄贈CD・DVD：7部

#### (5) 新聞記事画像データ活用事業

本事業は、本財団が保有する離島に関する新聞記事情報（全国紙・地方紙）をよりスピーディーに、正確に情報検索し、それを活用することを目的に実施したものである。

平成25年度は、システムに272コマ新聞記事情報を入力し活用した。

### 4. 資料及び図書の作成・刊行

#### (1) 広報誌『しま』の刊行・配布

平成25年度は第234号～237号を刊行した。

規格：A5判 発行部数：3,000部

##### ▼『しま』234号（156頁）

<グラビア>急潮のなかの小さな島々（鹿児島県請島・与路島）

<ご挨拶>日本離島センターの公益財団法人への移行について

<TOPICS>リニューアルした本財団ホームページ「しましまネット」の活用を／長崎県でプレミアム付き共通商品券「しまとく通貨」の発行を開始

<コラム>「沖縄県及島嶼町村制」への道程とその後

<報告>宮城県離島の復旧・復興の概況

<特集>改正離島振興法施行

離島振興基本方針の概要／「離島活性化事業費補助金」及び「離島活性化交付金」について／離島流通効率化事業の概要及び実施事例紹介／「離島の公立高等学校等に対する教職員定数の加算措置」及び「離島高校生修学支援事業」について／離島の妊婦健診・出産に係る支援経費の特別交付税措置化について／離島振興対策実施地域指定基準の見直しについて

<寄稿>世界一の「椿の島」を目指して

<連載>写真の向こう側／島の精神文化誌（山口県蓋井島）／「しま」の原景／瀬戸内海の今を歩く（広島県三角島）

<事業>FOODEX JAPAN 2013／平成25年度全離島通常総会を長崎県壱岐市で開催

<書評>清水 薫著『実録ダコタ物語り』／婁 小波著『海業の時代——漁村活性化に向けた地域の挑戦』

##### ▼『しま』235号（216頁）

<グラビア>城下町の沖、将来を模索する三つの島（山口県大島・相島・櫃島）

<TOPICS>離島振興対策実施地域の見直しについて／平成25年度「離島活性化交付金」採択事業の概要／奄美群島および小笠原諸島の振興開発について／「今後の国境離島の保全、管理及び振興のあり方について中間提言」の概要

<コラム>〈忘れられた島〉と〈海に背をむけた島〉

<報告>宮城県離島の復旧・復興の概況

<特集>都道府県離島振興計画

北海道離島振興計画の策定にあたって／東京都離島振興計画について／島根県離島振興計画——隠岐からの挑戦／山口県離島振興計画について／愛媛県離島振興計画の概要／長崎県離島振興計画の概要について／鹿児島県離島振興計画と本県の新たな取り組み

<寄稿>海女を訪ねてにし、ひがし（前篇）／吉永小百合さん、『潮騒』の舞台・神島へ／伝え

ていきたい小呂島の魅力

<連載>写真の向こう側／島の精神文化誌（長崎県対馬島 前篇）／「しま」の原景／瀬戸内海の今を歩く（広島県情島）

<書評>長岡秀世著『知行合一の旅人 宮本常一 その済民思想の伏流水』／朴 順梨著『離島の本屋』

▼『しま』236号（162頁）

<グラビア>棚田と風車、重伝建の島（長崎県の山大島）

<TOPICS>平成26年度「離島人材育成基金助成事業」の募集を開始

<コラム>中井正一と瀬戸内の島々——戦後図書館運動の原点は田島だった

<報告>伊豆大島の土砂災害 被災状況と復旧・復興の概況

<特集>離島振興功労者表彰

離島振興60周年記念功労者表彰式典／国土交通大臣表彰受賞者（一般住民）の功績／功労者表彰受賞者名簿／〔記念講演抄録〕国家的視点から見た離島の役割と離島振興への期待

<寄稿>海女を訪ねてにし、ひがし（後篇）

<連載>写真の向こう側／島の精神文化誌（長崎県対馬島 後篇）／「しま」の原景／瀬戸内海の今を歩く（香川県広島）

<事業>「しまづくりサミット2013」開催／国土交通大臣杯「第六回全国離島中学生野球大会」開催／「第22期 島づくり人材養成大学」開講報告

<追悼>深悼 姫田忠義さん

<書評>井上典子・染井順一郎著『食と景観の地域づくり 小さな活動からネットワークへ』／三上絢子著『米国軍政下の奄美・沖縄経済』

▼『しま』237号（160頁）

<グラビア>歳神様の来る郷（鹿児島県下甕島）

<TOPICS>しま博覧会「瀬戸内しまのわ2014」開催／日本損害保険協会 消防施設7台を全国の離島へ寄贈

<コラム>占いの島・神の島・祈りの島

<報告>伊豆大島の土砂災害 被災状況と復旧・復興の概況

<特集>奄美・小笠原法改正

① 地域振興の展望

ソフト政策推進を加速化する改正法／奄美群島の自立的発展に向けて／ビジョン実現の基盤となる新しい奄振法／小さくともキラリと光る島を目指して／島々の連携による世界ブランドの構築を

② 改正法への期待

新時代を切り拓く異次元の改正法／改正法を活かした定住の促進を／戦略性をもって進めたい離島の振興

③ 改正法の趣旨

奄美群島振興開発特別措置法及び小笠原諸島振興開発特別措置法の改正について

<寄稿>ラナルド・マクドナルド奨学基金を活用した米国短期留学

<連載>写真の向こう側／島の精神文化誌（鹿児島県下甕島 前篇）／「しま」の原景／瀬戸内



海の今を歩く（愛媛県津島）

<事業>「アイランダー2013」開催

<書評> 姫田忠義著『ほんとうの自分を求めて』／前畑明美著『沖縄島嶼の架橋化と社会変容—  
—島嶼コミュニティの現代的変質』

<資料>平成26年度離島振興関係国家予算政府原案

(2) 『2012 離島統計年報 CD-ROM版』の編集・刊行

離島振興法をはじめ全国の法指定離島の基本的な統計資料を体系的に収録した『2012  
離島統計年報』CD-ROM版を刊行した。

1)規格及び部数 CD-ROM Windows版(PDF及びEXCELファイルを  
収録) 500枚

2)内 容

- ①図表で見る島の動き ②概 要 ③人口動態 ④教 育 ⑤農林水産業生産額
- ⑥観光・自然公園 ⑦道路・車両 ⑧港湾・航路 ⑨空港・航空路 ⑩医療 ⑪水道
- ⑫廃棄物・下水処理

(3) 日本の島ガイド『SHIMADAS (シマダス)』の編集

日本全国の有人島を中心に、人口・面積などの基礎データ、交通、観光、生活、ひと、  
島おこし事業などの情報を掲載する同書の一部編集を実施した。

## 5. イベント

- (1) 「アイランダー2013」への開催協力  
昨年度に引き続き、国土交通省と共催で、離島の総合交流推進支援事業の一環として、「アイランダー2013」を次のとおり実施した。
- ① 日 時 平成25年11月23日(土)～24日(日)
  - ② 場 所 東京・池袋サンシャインシティ「文化会館」3階Cホール
  - ③ テーマ 「Let's 島活！見つけよう私の島」
  - ④ 内 容
    - 1) 島のブース  
島のスタッフと来場者のコミュニケーションゾーン。  
22都道府県から72ブース(約200島)が出展。
    - 2) ステージイベント
      - ①オープニングライブ(八丈太鼓)
      - ②アイランダーステージ(島の伝統芸能披露、島のPRほか)
      - ③サブステージ(来場者との会話型プログラム、移住体験者からの講演ほか)
    - 3) 島の伝統工芸体験&ワークショップ  
各ブース内での島の工芸体験、楽器演奏体験等を展開。
    - 4) アイランダーマーケット  
ブース隣接での島の特産品等直売コーナー
    - 5) 島の情報提供コーナー  
エントランスで、島の体験メニューや住宅など島暮らし情報を提供するコーナー
    - 6) 島のグルメ食堂  
3台の移動キッチンカーにより各地の名物料理を提供。
    - 7) 定住・交流相談  
島ブース内及び同特設スペースにおいて開設。
    - 8) 島の果たす機能と役割PRコーナー  
島の果たす国家的・国民的役割をパネル展示でPRするコーナー
    - 9) 「島のおみやげ」プレゼントコーナー  
来場者アンケート回答者を対象とした景品抽選コーナー。
    - 10) 島外出展ブース  
「島」「海」「旅」「地方へのUIターン」などアイランダーに関わるメディア等の出展ブース(5団体が出展)
  - ⑤来場者数 約13,000人
- (2) 「SEA級グルメカーニバル@井の頭公園～海がつなぐ絆祭り～」への出展  
伊豆大島支援、全国の離島のPRを目的に、「SEA級グルメカーニバル@井の頭公園～海がつなぐ絆祭り～」を後援、出展した。
- ①日 時 平成26年3月28日(金)～30日(日)
  - ②場 所 井の頭恩賜公園西園
  - ③内 容 「海がつなぐ地域」の物産・食・みどころを紹介し、その魅力を都会に住む人々に再認識していただく、復興・振興支援の機運を再び盛り上げるカーニバル。

(3) イベント等に対する後援

平成25年度は、次の事業に対し支援・後援した。

- ① 長崎県離島研究シンポジウム  
主 催：公益財団法人ながさき地域政策研究所  
月 日：平成25年5月22日(水)  
場 所：長崎県長崎市 長崎県歴史文化博物館ホール
- ② 第6回粟島クリーンアップ作戦  
主 催：粟島クリーンアップ作戦実行委員会  
月 日：平成25年6月16日(日)  
場 所：新潟県粟島浦村
- ③ 国土交通大臣杯第6回全国離島交流中学生野球大会  
主 催：国土交通大臣杯第6回全国離島交流中学生野球大会実行委員会  
月 日：平成25年8月19日(月)～22日(木)  
場 所：長崎県壱岐市
- ④ 第3回アイランド・トレイル 2 Days 黒島  
主 催：鹿児島県三島村  
月 日：平成25年10月19日(土)～20日(日) ※中止  
場 所：鹿児島県三島村 黒島
- ⑤ 第7回トカラ列島島めぐりマラソン大会  
主 催：鹿児島県十島村  
月 日：平成25年10月25日(金)～27日(日)  
場 所：鹿児島県十島村
- ⑥ 第11回海ごみサミット・東京会議  
主 催：一般社団法人 JEAN  
月 日：平成25年11月20日(水)～21日(木)  
場 所：東京都新宿区 新宿住友ホール
- ⑦ 第2回全国島へんろサミット in 壱岐  
主 催：壱岐島おこし応援隊「チーム防人」  
月 日：平成25年11月30日(土)  
場 所：長崎県壱岐市 一支国博物館
- ⑧ 瀬戸内大崎上島発 島の未来を考えるシンポジウム  
主 催：独立行政法人国立高等専門学校機構 広島商船高等専門学校  
月 日：平成26年1月10日(金)  
場 所：広島県大崎上島町 大崎上島文化センター
- ⑨ われは海の子2013／われは海の子フォーラム  
主 催：NPO 海のくに・日本  
月 日：平成26年3月2日(日)  
場 所：東京都渋谷区 東京ウィメンズプラザ・ホール
- ⑩ 海洋観光の振興に関するシンポジウム～「海洋×観光」で地域の魅力再発見～  
主 催：国土交通省  
月 日：平成26年3月25日(火)  
場 所：東京都新宿区 新宿住友ホール

⑪ 海がつなぐ絆祭り

主 催：海がつなぐ絆祭り実行委員会  
月 日：平成 26 年 3 月 28 日（金）～30 日（日）  
場 所：東京都三鷹市井の頭恩賜公園西園

⑫ 第 2 1 期「緑のふるさと協力隊」事業

主 催：特定非営利活動法人 地球緑化センター  
月 日：平成 25 年 7 月 1 日（月）～26 年 3 月 31 日（月）※参加者募集期間

## 6. 情報化推進

リニューアルした本財団 Web サイト「しましまネット」を、公益財団法人にふさわしい離島の情報発信ツールとするとともに、幅広いリンクを通じて地域間の交流促進に寄与する運用をした。

「しましまネット」による主なコンテンツは以下のとおりである。

- (1) 「島について調べる—情報検索—」 ページ、会員市町村のイベント・求人情報等を一覧、検索できる。
- (2) 会員市町村専用ページを設置し、会員市町村が直接しましまネットへ各種情報を掲載できるフォームを導入した。その他会員名簿や行事カレンダー、写真なども閲覧することができる。
- (3) 季刊『しま』の最新号およびバックナンバーを公開
- (4) 公益法人情報公開規程に即した公告を掲載

## 7. 離島人材育成基金助成事業

離島住民の自主的な住民活動を支援し、新しい活力ある離島の実現に必要な人材の育成を図ることを目的として設置した「離島人材育成基金」の運用益による助成事業等を実施する。

平成25年度は14事業（知的支援型含む）に助成を行った。

都道県	市町村	事業名	事業主体
新潟県	佐渡市	トキとホテルが舞う里づくり事業	潟上水辺の会
広島県	三原市	塔の峰桜プロジェクト	向田区
香川県	丸亀市	塩飽ひろしま島案内人養成事業 (女性の視点を活かした島案内)	ふれ愛の町ひろしまをつくる会
福岡県	福岡市	滞在型観光を促進する人材育成事業	小呂島しまづくり協議会
長崎県	壱岐市	壱岐四国四十八ヶ所巡り先達ガイド養成と 全国島へんろサミット開催事業	壱岐・島おこし応援隊チーム防人
熊本県	天草市	牧島－横浦島－御所浦島 不知火海で育む伝馬船インストラクター	御所浦アイランドツーリズム推進協議会
熊本県	上天草市	談合の島・湯島に若者を呼び込むための仕組みづくり －企画立案作業の実地体験を通して島おこし人材を育成する－	上天草市商工会
鹿児島県	奄美市	奄美島おこし「ミツバチ×日本そば」プロジェクト	特定非営利活動法人環境教育推進協議会
鹿児島県	奄美市	水産物特産品開発事業	奄旨海房魚匠
沖縄県	久米島町	未来へ続く、島の魅力、新発見事業	島の魅力新発見プロジェクト
沖縄県	南城市	久高人芸能祭「黄金の瓜ざねの心」	久高人芸能祭「黄金の瓜ざねの心」実行委員会
合計		8 県 10 市町 11 事業	

### (知的支援型事業)

都道県	市町村	事業名	事業主体
静岡県	熱海市	被災者に学ぶ、防災講話	初島区
新潟県	佐渡市	佐渡・岩首地区における食文化の再発見と 継承に向けた島学（島塾）事業	岩首棚田とき共生みらい
三重県	鳥羽市	防災講演会『離島の防災を考える会』事業	全国離島振興三重県支部連絡協議会
合計		3 県 3 市 3 事業	

## 8. 離島の観光・物産等振興宣伝活動助成金事業

離島産業の活性化のため、本土・都市部のイベントや展示会等に離島住民・団体自ら出展・実施する観光振興・物産振興などの宣伝活動に対し助成事業等を実施する。

平成25年度は以下の事業に助成した。

都道県名	市町村名	事業名	事業主体
北海道	礼文町	日本橋「大北海道展」	礼文島観光協会
北海道	利尻町	日本橋「大北海道展」	利尻町観光協会
北海道	利尻富士町	日本橋「大北海道展」	利尻富士町観光協会
北海道	羽幌町	天売島・焼尻島観光・物産振興宣伝事業	羽幌町観光協会
北海道	奥尻町	夏の奥尻航路PR事業	奥尻島観光協会
東京都	三宅村	第31回江東区民まつり	三宅島観光協会
三重県	鳥羽市	鳥羽市離島の観光PRキャラバン	島の旅社推進協議会
島根県	西ノ島町	西ノ島観光協会による物販と観光キャラバン	西ノ島観光協会
広島県	三原市	ひろしまフードフェスティバル	さぎしま物産部会
広島県	大崎上島町	大崎上島物産宣伝販路拡大活動事業	Ijour大崎上島
山口県	萩市	萩・ふるさとまつり	萩諸島連絡協議会
大分県	姫島村	第52回豊の国一村一品ふるさとまつり	姫島村商工会青年部
大分県	佐伯市	第52回豊の国一村一品ふるさとまつり	ふるさとまつり準備委員会深島
大分県	津久見市	第52回豊の国一村一品ふるさとまつり	ふるさとまつり準備委員会保戸島
合 計		7都道県 14市町村 14事業	

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 5 月  
公益財団法人 日本離島センター